2022年9月6日

池坊短期大学図書館だより

第11号　芙蓉（ふよう）
花言葉　繊細な美

学生による「私の好きな絵本」紹介　第３弾！　幼児保育学科「基礎ゼミ」より

『くろくんとふしぎなともだち』
童心社　作・絵：なかや　みわ

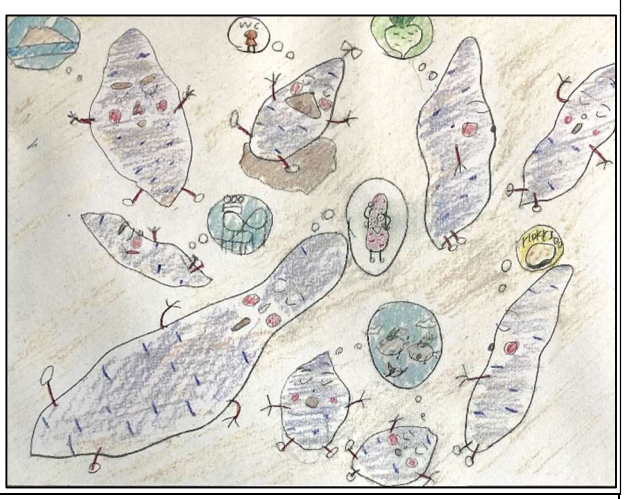
私がこの本の好きな所は、くろくんとくろくんの仲間たちが一緒に絵を描いている所です。
くろくん一人で楽しんでいるのではなく、仲間たちにも教えてあげて、みんなで楽しむことができるので、この本を子どもたちに読み聞かせたら、仲間はとても良いことだと知ることができるし、仲間の大切さを実感することができる。（荏原　ケンロス）

【請求記号(配架場所)：ク 登録番号：00057259】

『パイロット　マイルズ』BL出版株式会社
文・絵：ビル・サラマン,ジョン・バーニンガム,
ヘレン・オクセンバリー

この絵本は、男の子ノーマンが愛犬マイルズを思う温かい気持ちがこもっています。私は中でも、絵に描いたこの場面が大好きです。歳を取り出来ることが一つずつ減っていくことに悲しくなるマイルズを、ずっと傍らで支えてあげるノーマンの優しさが心に浸みます。
（三橋　めぐ）

『さつまのおいも』　童心社
作・絵：中川　ひろたか



私がこの絵本を選んだ理由は、サツマイモが土の中で人間と同じように生活しているのがとても不思議で面白くて、最後にサツマイモがおならになって人間に勝つみたいなお話が最後まで諦めないでといっているみたいでとても好きです。
（西山　花守）

【請求記号(配架場所)：サ 登録番号：00056075 】

紹介された絵本は、図書館で展示しています。『パイロット　マイルズ』は10月に図書館に入る予定です❣
本の紹介文やイラストの他、図書を使った授業の紹介など、引き続き記事を募集しています❣

日本の伝統文化発信⑦～ちょっと教養のコーナー

宮仕遊藝出世雙六
（みやづかえゆうげいしゅっせすごろく）

拡大図

（「生花」が挙げられている部分）

すごろく全体図（□で囲まれた部分拡大↑）

図書館ショーケース内に展示中です。
ぜひ一度、実物をご覧ください。

明治初めの出版
作：寿老人（じゅろうじん）
絵：一蘭斎国政
（いちらんさいくにまさ）

この双六は、「絵双六」の1つで、江戸時代以降さかんに作られ、子どもの遊びと教育のためにつくられたものでした。道中双六や芝居双六などが作られました。本作は、「飛び双六」といい、さいころの出た目による移動先が示してあり、振ったさいころの目により飛び移っていくものです。

内容は大きく3つに分けられ、前半のマスには武家に仕える女性のたしなみである、生花・和歌・琴・三味線・篠笛・おどりがあげられ、中半は御乳（乳母）・御次・御小姓・御中老・御年寄などの宮仕えの役職が、そして一番上の段には、御姫様・若殿様・奥様・殿様のマスがあり、最後にあがりとなっています。

それぞれのマスには、セリフが記され、生花には、「こんな木ぶりのわるひのをいけろとあるが、われのぶんの花わざ、めいわくといふのだろう（こんな枝ぶりの悪いのを生けろというけれど、私の花のわざでは、迷惑なことだなあ）」とあります。（松本公一）

図書館からのお知らせ

新しい図書館スタッフのご紹介❣

望月綾さん（図書館司書）

皆さま、こんにちは。7月から図書館司書となりました、望月 綾と申します。山梨県出身、猫と甘味と歴史文化が好きです。
皆さんは図書館を利用されますか？
用事もないし本にも興味ない…という人もいるのでは。そうした人にも気軽に立ち寄ってもらえる図書館にしていきたいと思っています。
また、課題や本を選ぶのに困った時にはいつでも気軽に相談してください。司書の仕事は本と人を結ぶ事です。当館が身近で居心地がよく役に立つ場であるようにがんばりますので、これからどうぞよろしくお願いいたします。

～～～～ミニミニ知識～～～～

旧暦九月九日は「重陽の節句」は別名「菊の節句」と呼ばれ、日本では平安時代から、この日に菊の花びらを浮かべた菊花酒を飲んで邪気を祓（はら）う風習がありました。
（『ちいさな花言葉・花図鑑』監修：宇田川佳子より引用
もっといろいろなお花を調べてみたい方は図書館へお越しください）

図書の検索は便利なQRコードも利用できます。

資料の検索にご利用ください。
http://www.lib-eye.net/ikenobo-c/